

平山郁夫館

聖なるもの - 仏と神

2020.4.4 - 8.30

ひらやまいくお
平山郁夫さん(1930-2009)は、日本画という種類の絵を
えが がか せかいじゅう たび ばしょ ふうけい
描いている画家です。世界中を旅してその場所の風景や
ひとびと えが
人々を描きました。

ひらやま え おお
平山さんの絵は大きく2つに分けることができるよ！

そびょう 素描

(全体的に薄い色の作品)

線が描かれている
水彩絵具で色をぬっている

ほんが 本画

(全体的に濃い色の作品)

線が描かれていない
岩絵具で色をぬっている

■What's 岩絵具？



色のついた岩石を砂みたいにくだいて、
にかわ(動物のほねや皮を煮こんで
つくったのり)とまぜて、色をぬります。
自然にある岩石はキラキラしている
ものもあるので、本画はキラキラして
見えることもあるよ。

いま ほとけ かみ ばしょ
今は、仏さまや神さま、おいのりする場所が
えが さくひん ちゅうしん かざ
描かれた作品が中心に飾られています。

■仏さまや神さまには種類があるの？

ほとけ かみ え かお ふく
仏さまや神さまって、絵によって顔も服もちがうみたい。
じつ ほとけ かみ しゅるい し
実は、仏さまや神さまには種類があるって知ってたかな？



如来(にょらい)

仏教において一番上の神さま
シンプルな服を着ているよ

菩薩(ぼさつ)

悟りを求めて修行中の神さま
キラキラおしゃれな格好してるよ



明王(みょうおう)

言うことをきかない人のところに
やってくる神さま
怒った顔をしているよ



仏さまや神さまの中でも、
描かれた場所によって
顔がなんだかちがうみたい。
インドや東南アジア、中国、
日本、その土地に
暮らす人に似てるのかな？

■《天堂苑樹》(1966年)

え なに かんが
この絵は何をしているところなのかな？考えてみよう。

作品左の方に立っているのはお釈迦さまで、天上の世界にいる
自分のお母さんに仏教の教えを話しているシーンです。
天堂苑樹には小さなサイズで描かれた小下絵というジャンルの
作品があります。これは、いきなり大きな作品に描くよりも、
絵のバランスなどを確かめるために小さな作品で描いています。